

# アイアンマン西オーストラリア 最高だったぜい！！

2019年1月

平木 琢也

昨年12月にアイアンマン西オーストラリアに出場してきた！ 2008年の五島長崎以来、10年ぶりのアイアンマンである。

この大会はオーストラリアの西海岸、パースから車で南に約2時間半のところにあるバッセルトンというところで開催されている。バッセルトンは自然に囲まれた、ビルなんかひとつもない小さな美しい町。

そこにアイアンマン、アイアンマン70.3に出場するため世界中から約1500人のトライアスリートが集まった。

ここで有名なのはなんといってもバッセルトン栈橋。木造の栈橋で先端まで1.9km。昨年まではこの栈橋を行って帰ってくるSWIMレイアウトだった（ちょうど3.8km）のだが、今年からサメ対策のため、途中で折れて海岸沿いに平行して2周泳ぐコースに変更になった。



★バッセルトン栈橋（SWIM会場）



★アイアンマン村（お店いっぱい）



★大会前日のQ&A会（競技説明会はなかった。私の英語力ではオーストラリア訛りは聞き取りにくかった。）



★前日開催のアイアン・キッズ（子供たちも海で泳ぐ。BGMはQueenの“*We Will Rock You*”、体操はVillage Peopleの“*YMCA*”。どこでも一緒やなあ〜）



★レース当日、緊張の朝。すんげえ〜BIKEばっかし。

6時45分エイジスタート。1,000人一斉スタートではなく、2〜3人ごと数秒おき順スタート。これによりバトルがほとんどなくなり、だいぶ助かった。

とはいえ、オープンウォーターで水温21℃。3.8kmはちょっと不安だったのだが、大会前に新調したSWORDのウェットスーツが信じられないほど素晴らしく（ほんとうに凄い！腕がよく回るし、浮くし、進む！！）、まったくのノーダメージでSWIMを終えることが出来たぜいっ！



★・・・我ながら、カッコいい・・・。



★（左）ほとんどフラットな BIKE コース！思いっきりぶっ飛ばせ～！！（写真は試走時のもの）

★（右）野良カンガルー（しばらく私と見つめ合ってた。試走時に会った。）

BIKE コースがこれまた素晴らしい！西オーストラリアの大自然を満喫できる 180km！  
輝く海沿いの道、たくさんの水鳥が羽を休めている沼沢地帯、高い高い木立が両脇に走っている大森林、  
牛や馬が放牧されている大草原・・・！ そして野良カンガルー！！

こんな素晴らしいところで、最高の天気の中で、もの凄く壮大な大会で、自分の体力と精神力を限界まで出すことが出来るこの幸せ。そしてこの身体を与えてくれた両親に心から感謝したいと感じたら、BIKE の上で嬉し泣きしていた。（おっと妻への感謝も絶対忘れてはいけない。それから大会運営の方々にも！）

それにしてもみんな BIKE が速い！！ また、負けん気が強い！！ 私と同年代、いやもっと年上のおばちゃんがすいすい私をパスする。んでもって負けじと抜き返すと、おばちゃん、また抜き返す。まあ、なんとカッコいい！ あ～楽しい！（ま、AS の女性方といっしょですが）

最後の RUN は 10km を 4 周回。BIKE 終了時には足が思うように動かず、「こら、あかん！」と、思ったが、じょじょに感覚が戻ってきて、なんとか気持ちよくフィニッシュできた。



★表彰式。このあとアフターパーティー。陽気で和気あいあい。

素晴らしい大会だった。エイジ全カテゴリーの全選手が光り輝いていた。活き活きとした表情が素敵だった。みんなこの過酷なアイアンマンレースにそれぞれの思いを抱いてスタートし、そしてひとりひとり違った思いを持ってフィニッシュしたように思えた。

私はアイアンマンに憧れてトライスロンをはじめた。その伝説、信じられないようなドラマに魅了された。(今回も凄いドラマを見た。長くなるので書けないのが残念。) 常識では考えられない過酷さに挑戦することの意味、完走者全員が受け取る意義、その内包する本質的な魅力、奥深さ、魔力、限りなく明るい雰囲気、演出・盛り上げ方・・・それらの素晴らしさは、今もまったく変わっていないと感じた。また出たい。(お金かかるので、そう再々行けませんけど・・・)

